

令和2年1月号 環境保全措置・事後調査実施状況（概要版）

令和2年1月
佐久市・北佐久郡環境施設組合

今回は、工事開始前の調査において建設地付近で確認された希少種のうち、令和元年7月から11月に生育調査を実施した「ヤエガワカンバ成木・現場移植幼木」、5月及び9月に生育調査を実施した「オニヒョウタンボク成木」、令和元年8月から10月に生育調査を実施した建設地周辺に生育する希少種「ミズオオバコ」「ナガミノツルキケマン」、「キクタニギク」、「ヌマガヤツリ」、「ノジトラノオ」、「イヌハギ」について報告します。

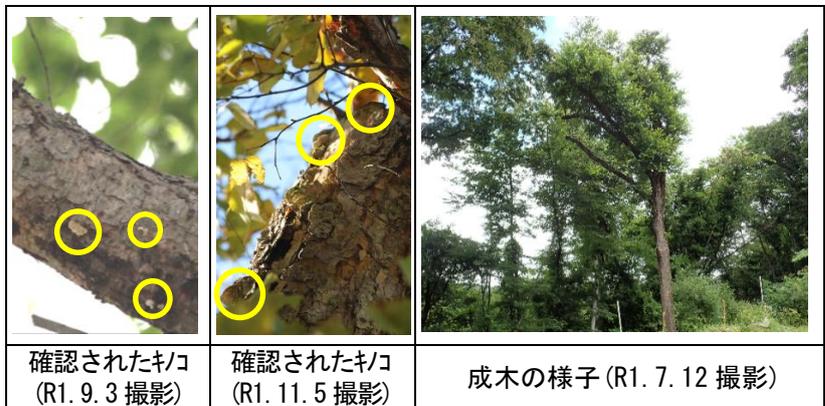
1 ヤエガワカンバ成木・現場移植幼木の生育調査結果について

(1) 成木について

十分に展葉しているが、一部の枝は枯れて葉の量が少ないです。

樹木の内部を腐食させるキノコを新たに9月と11月に確認しました。

キノコや腐食が進行し、成木の生育に影響を及ぼす場合には、適切な処置を実施していきます。



(2) 現場移植幼木について

移植時に21～52.5cmだった樹高は、11月時点で約116.0～178.0cmにまで生長しました。根本の直径も移植時の4～7mmから13～21mmと太くなり、展葉も十分しており、順調に生育しています。



2 オニヒョウタンボク（成木）の生育調査結果について

5月及び9月に生育調査を実施しました。

一部の個体でカビによる白斑や虫食いを確認しましたが、5月及び9月どちらの生育調査でも8本全てにおいて旺盛な樹勢が確認できました。



3 ミズオオバコの生育調査結果について

工事による排水温度の影響を確認するため、8月に生育調査を実施し、52個体の生育が確認できました。

確認されたミズオオバコは元気に生育しており、排水温度の影響は見られませんでした。



ミズオオバコ (R1. 8. 28 撮影)

4 ナガミノツルキケマン・キクタニギク・ヌマガヤツリ・ノジトラノオ・イヌハギの生育調査結果について

全ての種の生育が確認でき、工事による粉じんの付着等の影響は見られず、順調な生育が確認できました。

調査対象種	生育調査月	確認個体数
ナガミノツルキケマン	8月	28個体
キクタニギク	10月	約26個体
ヌマガヤツリ	9月	151個体
ノジトラノオ	8月	29個体
イヌハギ	9月	2個体



ナガミノツルキケマン (R1. 8. 28 撮影)



キクタニギク (R1. 10. 21 撮影)



ヌマガヤツリ (R1. 9. 26 撮影)



ノジトラノオ (R1. 8. 28 撮影)



イヌハギ (R1. 9. 3 撮影)

5 次号（3月）の内容

- ◆建設工事に伴う環境保全措置の実施状況
- ◆生活環境（大気質等）に対する事後調査結果 について予定しています。